



## 単位PTAの活性化のために

「はじめの一步」

日頃から高P連の活動にご理解とご協力をいただき本当にありがとうございます。

さて、突然ですが、皆さんは、高P連に足りないものは何だと感じていますか？

私が足りないと感じたのは「目的意識」でした。平成25年度に役員として活動する中で気付いたことで、「この団体は誰のために何を目指して活動しているんだろう？」という疑問が常に頭から離れず、当時の会長に質問したこともありました。

そのような状況の中、今年度は「目的意識」をどう具体化していくのかを同じ役員同士で議論を交わしました。

PTAの目的は、「保護者

と先生が協力して生徒のための教育環境を整えること」という大前提を踏まえ、単位PTAは生徒や学校のため、地区協議会は単位PTAのため、では、

「高P連は？」

そうなんです。地区協議会、単位PTA、会員の皆さんのために何ができるのか、何をすべきかを意識して活動することが欠けていたんです。

そこで、今年度の高P連は、「単位PTAの活性化のために何ができるか！」に目標を絞り、日々、試行錯誤を繰り返しながら少しずつ前進しているところです。

まず、取り掛かったのは会員の皆さんが何を望んでいるのかを知ることでした。様々な高P連の事業の中で、私たち役員が会員の皆さんとできるだけたくさんの関わりを持ち、また、これまで様々な事業でいただいたアンケート結果を再確認することはとても

参考になりました。

また、意見を聞きやすい環境作りや、いただいた声をこれまでの事業にどう活かすかをあらためて検討し、今年度の事業に取り入れてきました。個々の活動は本会報を隔々までご覧になってください。

平成29年度には関東地区高P連大会が神奈川県で開催されます。今年度から準備に取りかかりましたが、現在の取り組みも関東大会に通ずるものと信じています。

今年度の取り組みは改革が目的ではなく、会員のみなさんの声に耳を傾け、今の時代やニーズに合った活動にシフトすることが目的です。まずは「はじめの一步」を踏み出したところですが、まだまだ課題は山積みです。会員の皆さんの声とともに人と人のつながりを大切にした活動を継続してまいりますので、みんなの高P連を目指してともにがんばりましょう！

(松本)

## HPの大改良

神奈川県立高等学校PTA連合会のホームページ(HP)を本年1月14日にリニューアルしました。内容を載せ換えデザインを変更しましたが、一番大きな変更点は自分たちで運用ができることです。各大会の翌週にはその結果をアップすることも可能となりました。

今後はアンケートの集計やPTA活動のFAQ掲載、また各大会などの参加申し込みができるような調整も行いたいと考えています。今年度の特別委員会のメンバーでその要件を取りまとめ、来年度の予算に組み入れたいと考えています。

HPの「お問い合わせ」より皆様からのご意見ご要望をお待ちしています。

(大石)

あっ発見!



神奈川 高P連 検索

# 平成26年度・県高P連始動(予定者研修) 部門別に開催

## 地区協議会会長部門

5月30日14時より、横浜市教育会館に於いて開催されました。

地区協議会会長は県高P連の理事としても活躍して頂くため、県高P連の組織図、今年度の活動方針、重点目標、事業計画を例年にまして詳細に説明しました。

又、一年間活動する委員会を決めて頂くために、研修、健全育成、調査広報の各委員会の具体的な活動内容を説明しました。

今年度の新たな取り組みとして役員、理事の実際の役割について、中(平塚・秦野)、相模原両地区の理事が自身の経験を紹介しました。最後に、地区協議会会長として提出すべき書類について事務局からの説明の後、各委員会に分かれ、情報交換が行われ、平成26年度の県高P連が船出しました。

(北村)



## 交通安全担当部門

予てからの課題であった分かりにくい交通安全担当校説明会を改善すべく、今年度は例年のやり方を大幅に変更しました。

地区協議会会長校(理事校)とは別の会議室での開催、更に前年度の交通安全担当校の方にも同席を頂くというものです。

地区交通安全高校生・PTA大会運営に関する説明を高P連から行い、昨年度の様子を前年度の担当校の方から説明して頂き参加者から分かり易かったとの感想を頂きました。

前年度交通安全担当校の方々のご協力もあり無事に説明会を終えることができました。改めてお礼申し上げます。

(小野寺)

## 平成26年度高P連総会 (IN パシフィコ横浜)

平成26年度神奈川県立高等学校PTA連合会総会が、6月15日、パシフィコ横浜で開催されました。

平成25年度の活動報告・決算報告が承認されたのち、平成26年度理事・役員を承認頂き、今年度の体制が名実ともにスタートしました。

松本一彦会長の「単位PTAの活性化のために何ができるか!」を合言葉に、新役員は、従来にもまして準備と議論を重ねてきました。

平成26年度の活動計画はもとより予算案についても細かな内容のチェックを行い作成しました。

総会では新たな取り組みとして「顧問」選出をご承認頂きました。役員と地区協議会会長を兼務する新理事との連絡・調整役として各地区より推薦頂いた8名の高P連理事、単位PTA

会長経験者の方々に顧問に就任頂きました。委員会活動、理事会等でのご助言は大変に役立つものでした。もう一点、今総会での変更点は、「中地区↓平塚・秦野地区」への変更でした。

「中地区」は、神奈川県中郡に由来する地区名です。現在は、二宮町、大磯町が郡域となっていますが、古くは戦国時代に小田原に拠点を置いた後北条氏が、相模の国を統治する際に足柄を除く、相模川以西を指すものでした(現在の秦野市、平塚市、伊勢原市、中郡、一部の厚木市)。

高P連には、横浜中地区があり大会の受付での混乱や、平塚・秦野校長会との名称の違い等々、些細なことながら若干の問題がありました。

一昨年より旧中地区の役員・理事からの申し入れもあり、平成25年度理事会での審議の上、今回の規約改正となりました。

今後は「平塚・秦野」地区として宜しくお願い致します。(松下)

## 県高P連年間行事

(平成26年度)

- 5/30 予定者研修
- 6/15 県高P連総会
- 7/4-5 関東大会 (群馬大会)
- 7/12 研修大会
- 8/22-23 全国大会 (福井大会)
- 11/20 県大会
- 2/1 健全育成大会
- 2/1 広報紙コンクール表彰式

## 第8回 高P連 研修大会

平成26年7月12日、パシフィコ横浜にて研修大会が開催されました。9部門約1200名の参加で盛大に開催されました。

今年度の研修大会は、「分科会の時間が足りなかった」、「もっといろいろな話をしたかった」という過去に参加者の皆様から頂いているアンケートの声を活かし前半に行っていた講演会を無くし、「分科会」を充実させた形で実施しました。



県高P連で行っている『研修大会』、『県大会』、『健全育成大会』の3大会のそれぞれの役割を大切に、この『研修大会』においては、単位PTAの役員・委員の皆さんが普段の活動を通じ感じている悩みや思いを直接顔を合わせて話し合う【学びの場】として活用していただ

き、単位PTAの活性化の一助になればと考えました。

限られた話し合いの時間の中で、今まで面識のない方々が如何にスムーズに打ち解けて頂き活発な意見交換ができるか、理事会、研修委員等で意見を出し合いました。例年、自己紹介等で相当の時間を費やし、お互いが何となく分かったころには終了というパターンを打開するため、今回は【お弁当を一緒に食べながらコミュニケーションを図る】ことでスタートすることにしました。

参加者からは、「同じ単Pの仲間と食べたかったのに」「初対面で気まずかった」と不満の声も聞きました。一方では「初めは緊張しましたがすぐに打ち解けた」、「一緒に食事することで話しやすい雰囲気を作れた」など、アンケートでも多くのプラスのご意見を頂き、一定の効

### 研修大会登録者一覧

会長部門	114名
副会長部門	170名
書記部門	133名
会計部門	132名
学年部門	142名
成人部門	137名
環境等部門	93名
交通部門	88名
広報部門	152名
合計	1,161名

果はあったと確信しています。

それでもなお話し足りないという声を受け、次年度は研修大会の後に情報交換会を行ってみようかとの話し合いも進んでいます。ぜひ、皆様のご意見を高P連に聞かせてください。分科会で話し合われた内容を後日確認できるように、そして参加されていない会員の方々にも、いつでもその内容が見られるように、リニューアルされた高P連のホームページにも載せておりますので、是非ご利用ください。

(小川)



## 編集コラム

### 『PTA会費について考える』

皆さんや私達がPTA活動をしていく為に必要なPTA会費は学校が集めてくださる学校徴収金の中に有ります。PTA会費の執行は会長の承認を経て学校に委任している学校がほとんどでしょう。会費を集めるのも使うのも学校がやってくれるので助かるという役員さんもいらっしゃるでしょう。また、子供の為になるのなら学校への協力は惜しまないのが親の信条だと思います。

総会前に例年通り学校が予算を組んで提示されたものを予算会議で了承という形になりますが、事前に役員で内容を確認しておく事はとても大切な事です。PTA会費の執行の権限は会長のみになります。内容を吟味して学校と折衝するのは会長の大事な仕事ですね。

県立高校の中にはPTAが予算を決めて管理も自分達でやっている学校がある事を最近知りました。

会員一人ひとりから預かったお金を有意義に子供達の為に使いたいのは皆さん同じだと思います。まずは予算について現状を把握する事からはじめてみては如何でしょう。

(佐々木)

# 群馬大会

# 関東地区高等学校PTA連合会大会

開会に先立ち、新島学園高等学校聖歌隊によるハンドベルの素晴らしい音色、群馬県立高崎高等学校和太鼓部「漢組」による和太鼓の男子校ならではの勇壮で力強い演奏で、7県から2800人を超える参加者を出迎えた。会場の外では、地元の高校生が企業とコラボして作ったアイスなどが並べられ、行列ができていた。

初日午後には声楽家の安田祥子さんにより記念講演「残したい 伝えたい 日本の歌」が行われ、四季を歌った歌など、会場いっばいに歌ったり、一体感のなか、気持ち良い満足感を感じながら終了した。

翌日は、第4分科会「家庭教育とPTA」というテーマの分科会に参加した。山梨県立巨摩高校の「家庭と学校を繋ぐPTA活動」、神奈川県立神奈川総合高校の『そうだ。学校へ行こう。』土曜日に青春するオトナたちの2件が提案された。

巨摩高校は世界遺産の富士山などに囲まれた、風光明媚な環境の中にあり、全校生徒の80%が市内（南アルプス市）からの進学者で、生徒・教師・保護者からなる座談会を開催し、スマホや学園祭の一般公開などについて話し合い、地域全体で生徒を支え、育んでいる様子が見て取れた。特筆すべきことは、バイク免許（50CC）の許可、バイクによる通学許可で、学校が生徒を信頼し、地域の支えがあつて初めて実現したのではないかと思う。

二つ目に報告した、神奈川県立神奈川総合高校、通称神奈総は子どもたちが高校に入学するときに一緒に入学する感覚で、『そうだ。学校へ行こう。』となり、「土曜日に青春するオトナたち」となる。保護者の74%がパートナーズ（PTA）に登録して、活動しているという、これは驚異の一言。このような神奈総の取組は、

生徒、学校、保護者の関係を創立以来受け継ぎ、発展させてきた賜物。このような取り組みを、どのPTAでもできるはずもないが、単位PTAでもなにか参考にできる事例があると思う。これは全国大会の事例として発表するに値する活動だと思ふ。

（菊地原）

# 福井大会

# 全国高等学校PTA連合会大会

越前漆器に福井名物を詰め込んで可愛く描かれているシンボルマークの福井全国大会。「教育と孝福」未来に引き継ぐ知と恵みをテーマに掲げたこの大会の至るところに、古の歴史と文化を次の世代に引き継ぎたいという気持ちが感じられました。

福井県の歴史は古く、日本六古墳に数えられる越前町の越前焼きや若狭の塗り箸、鯖江のメガネ、越前和紙、若狭めもの細工、タンス、刃物などの伝統工芸の宝庫となっている事を知りました。

歴史人物では幕末の志士橋本左内、解体新書の杉田玄白、絵画会に尽力された岡倉天心など沢山の歴史と文化のある福井県に住んだ事が無い私も何か望郷の感を覚えました。

8月22日は表彰式と基調講演がサンドーム福井で行なわれましたが、会場は九つに分かれた形になりました。表彰式では、団体表彰平

成26年度優良PTA文部科学大臣表彰に県立秦野高等学校PTA。

全国大会会長表彰団体に県立神奈川総合高等学校パートナーズ、県立横浜栄高等学校PTA、県立小田原高等学校PTAがそれぞれ表彰されました。基調講演は関東大会埼玉大会でもお馴染みの脳科学者茂木健一郎氏による「今求められる考脳」脳科学者からの提案」の演題でお話を聞きました。

8月23日の分科会では全国高P連研究発表がサンドーム福井で行なわれ、進路対策委員会による「進路選択と親子のコミュニケーション」なる研究発表があり、親と子の立場や考えを聞きました。記念講演として福井県立恐竜博物館特別館長の東洋一氏による「福井の恐竜」アジア、そして世界へ」を聞きました。恐竜の骨格はなかなかかなり専門的なお話しが聞ける貴重な時間となりました。

（佐々木）



福井大会のテーマロゴ

## 第52回 高P連県大会

今年も11月20日(木)、恒例の第52回県高P連大会がパシフィコ横浜で開催されました。今年度の高P連の目標である「単位PTAの活性化のために何が出来るか」を達成させるための新しい取組みを取り入れ実施することができました。

その1つが、活動事例発表校の選考方法の見直しです。

昨年度、県大会発表校を選考する基準や公表の方法などがわかりづらいというご指摘を受け、今年度は全10地区での選考を統一した基準で高P連役員が選考させていただきました。

新基準で選考された3校は素晴らしい取組みで、たいへんわかりやすく他校の活動の参考になる内容でした。事業実施後の参加者アンケートでも大好評でした。

2つめは、講演会です。数学者でもあり大道芸人でもあるピーター・フランクルさんをお招きすることができました。「人生を楽しくする方程式」高校生を持つ保護者に向けて「〜」という演題で、日本にいる外国人という目線から、結果よりも過程が大切であるというユーモアを交えた素晴らしい講演をいただきました。

そして最後は、初めての試みである情報交換会です。今年度の高P連

の目標を達成する1つの手段、方法として、会員同士がより深い親睦を図ること、人と人のつながりをさらに強くするため、お酒でも飲みながら直接話すことがより効果的だという思いで企画しました。

募集期間が短かったにもかかわらず、各単位PTAの役員、先生方もご理解とご協力をいただいたおかげで、211名の方々に参加していただくことができました。

おかげさまで今年度の県大会は、すべてを通して成功裡に終了しました。本当にありがとうございました。

(松本)

### 横浜旭陵高校PTA

「旭陵なう！とにかくやってみよう」

生徒とのかかわりも大切にして『とにかく、やってみよう』を合言葉にしたSPTAとしての活動が発表されました。

「今、何をやっているのかをタイムリーに発信する新たな試みとして『旭陵なう！』を発行する取組みについて、ホームページではなくあえて紙でそれもピンク色でというところに、控えめなアピールと、気軽に読んでください、という思いやりを感じました。

「人の和」を大切にをコンセプトに活動した球技大会での給水サービス「輪っか」(語源は、アイヌ語で水を意味する「ワッカ」)意味合いを持たせて活動しているところも感じました。毎年少しずつでも活動の幅を広げて成長していきたいという思いが伝わってくる発表でした。

### 生田高校PTA

「ai(アイ)プロジェクト」

PTA活動でai(あい)を含む言葉を探して、活かしていく取組みが発表されました。

言葉の中に「ai」を探し、その言葉を入れたスローガンを作り、生徒や一般会員により親しみのある活動を実践するなかで、生徒とのふ

れaiを深めるために行った生徒会とPTA役員との懇談会、そこで生まれた「日めくりカレンダー」の紹介は、とても新鮮で生徒たちとPTAとの関係に新たな可能性を感じました。

PTAで出ai(出あい)、知りai(知り合い)、助けai(助け合い)、等々、生徒たちの成長を見守るai(愛)に満ち溢れていました。

### 鶴嶺高校PTA

「伝統行事継承に向けた取組」

学校創立時から40年間続いている伝統行事を支えてきたPTAの取組みを浴衣姿で発表されました。

「体育祭で全員が浴衣を着て踊る」という特色ある学校行事は、10年前くらい前に着付けを教える人がいなくなり存亡の危機に、それを知った保護者の申し出により着付け教室が始まる、更にプロの着付け講師を招き保護者向け、生徒向けに着付け教室を開催、生徒の参加が少ない状況に1年生は全員参加に。時代の変化に合わせて前向きに改善してきて今があることが紹介されました。

サザンのBGMが流れて体育祭で浴衣姿で踊る生徒たちが映し出されたとき、PTAのご苦労が報われたような気がして感極まり涙していました。(小野寺)



# 第9回健全育成大会

健全育成大会が、平成27年2月1日パシフィコ横浜アネックスホールで開催されました。

昨年度は、横浜市教育会館で『広報紙コンクール表彰式』との同時開催でしたが、会場が手狭であったために、今年度は場所を移して別大会として開催しました。

交通安全事例発表校は、湘南鎌倉地区から輪番校の、県立寒川高等学校PTA。

PTAが中心となって通学路の安全状況の調査を行い、潜在する危険を認識しながら対策を検討したことが感じられVTRを中心に、とてもよくまとまっていた分、とり易かったという評価でした。

もう一校は、各地区交通安全大会の発表校から高P連役員の厳正な審査の結果、県立厚木西高等学校PTAが選ばれました。

通学路のトンネルの照明を明るくする事や、注意喚起の立て看板の設置など、行政への働きかけを含め、普遍性と独自性が評価されました。

当日は、神奈中バス厚木営業所の村上所長をはじめ職員の方、マ

スコットキヤラクターのカナミンも駆けつけてくれて、会場を大いに盛り上げて頂きました。

ドライビングレコーダーの映像は、実際の事故現場を映し、緊迫感を伴い大いに参考になりました。



講演は、(財)児童健全育成推進財団理事長の鈴木一光氏に、「子どものやる気を育てる方法」をテーマとしてご講演頂きました。

夫婦間や、周りの人との関わり方を、ユーモアたっぷりにお話頂きました。子供もさることながら、保護者の我々も豊かな人生を送るヒントを沢山頂けた講演でした。

(北村)

第38回  
平成26年度

## PTA 広報紙 コンクール

### 「物が言える」関係づくりを

第38回広報紙コンクールに応募いただき、ありがとうございました。今回も制作に携わる皆さんの熱意と奮闘ぶりが伝わってきました。「一人でも多くの人に読んでほしい、学校・生徒の今を知ってほしい」。そのための工夫が紙面の随所に見られました。一例として表紙があります。写真はどれを使おう、デザインはどうしよう。大いに頭を悩ませたことでしょう。表紙は「学校の顔」。審査員が選考に悩む顔づくり

を期待します。

年間行事を紹介する紙面が主流になっています。写真が多くビジュアル的にも目を引き、コミュニケーションを深める点では意義があります。ただし広報紙の役割はそれだけにとどまりません。生徒がより充実した高校生活を過ごすために、保護者の立場から何ができるか。時には、学校にも生徒にも辛口の視点が必要となります。「物言う」とまでは言いませんが、「物が言える」関係づくりを、ぜひ大切にしてください。

講  
神奈川新聞社  
角田 照司  
評



神奈川県立高等学校PTA連合会賞  
希望ヶ丘高等学校PTA  
神奈川県立高等学校長会賞  
多摩高等学校PTA  
(一財)神奈川県立高等学校安全振興会賞  
座間高等学校PTA  
神奈川新聞社賞  
七里ガ浜高等学校PTA

銀賞



神奈川県教育委員会教育長賞(最優秀賞)  
横須賀高等学校PTA  
神奈川県立高等学校PTA連合会賞  
神奈川総合高等学校パートナーズ  
神奈川県立高等学校長会賞  
秦野高等学校PTA  
神奈川新聞社賞  
鎌倉高等学校PTA

金賞



広報紙コンクール審査委員賞  
吉田島総合高等学校PTA  
(一財)神奈川県立高等学校安全振興会写真賞  
氷取沢高等学校PTA

審査委員賞・  
安全振興会写真賞



神奈川県立高等学校PTA連合会賞  
松陽高等学校PTA  
海老名高等学校PTA  
市ヶ尾高等学校PTA  
大船高等学校PTA  
茅ヶ崎高等学校PTA  
横浜国際高等学校PTA  
光陵高等学校PTA

銅賞

# かながわ教育ビジョンの推進

県教育委員会では、明日のかながわを担う人づくりを進めるため、様々な取り組みを行っています。



## 「かながわ教育ビジョン」の一部改定に向けて

本県の教育の総合的な指針である「かながわ教育ビジョン」を平成19年に策定した後、社会状況が変化する中で、一部改定に向けた取り組みを県民の皆様と一緒に進めています。平成25年11月から、PTAの皆様にも多数のご参加を頂き、「かながわ人づくりコロポ2013」を始め、計6回の教育協議などを行いました。県民の皆様のご意見や、国・県の動向を踏まえ、平成27年度には一部改定を行い、協働・連携による教育・人づくりを一層進めてまいります。

## 神奈川県まなびや基金への寄附のお願い

県では、皆様からの寄附金を活用して、県立高校のトイレの洋式化など、教育環境の整備を進めています。

子どもたちに、より一層快適なまなびの場を提供するためご支援、ご協力をお願いします。

寄附のお申し込み(特定の学校への寄附も可能です)は、ホームページから直接行うこともできます。詳しくは「まなびや基金」ホームページをご覧ください。

## 【問い合わせ】

県教育委員会財務課  
電話(045)210-8105

まなびや基金

検索

## 魅力ある県立高校づくりに向けて

県では、確かな学力の向上を図るため、「生徒が主体的に取り組む授業」「わかる授業」を展開し、県立高校の教育力の向上に努め、魅力ある学校づくりを進めています。

本年1月には、これまでの成果と課題を踏まえ、国の動向や県立高校改革推進検討協議会からの報告、県民の皆様からのご意見等を参考に、生徒の学びと成長にとって何が必要かという視点を最優先に「県立高校改革基本計画」を定め、公表しました。今後は、改革の内容を具体的に示した実施計画を27年度中に公表する予定です。

## 「かながわ部活ドリムプラン21 versionII」

部活動は、生徒の自主性や協調性を育むとともに、充実した学校生活を送ることができると大変有意義な教育活動です。

県では、「未来に羽ばたく人づくり」を基本理念とした、部活動活性化推進計画「かながわ部活ドリムプラン21 versionII」により、部活動の活性化に取り組んでいます。来年度には新計画を策定し、一人でも多くの生徒が、充実した部活動を経験できるよう学校・家庭・地域・行政が一体となった取り組みを進めていきます。

## 「スマートフォン等の適切な使用について」

県内の約9割の高校生がスマートフォンを所持する一方で、7割以上の高校生が家庭で、その利用についてルールを決めていないという状況が明らかになりました(子どもたちのネット利用に係る実態調査)。また、近年、インターネット利用に伴う個人情報流出や架空請求などのトラブル、ネットいじめやネット依存の問題が指摘されています。これらのトラブル等を未然に防止するためには、情報通信機器の利用に関するルールづくりやマナーについてご家庭でも話し合うことが有効です。ぜひ、ご家庭でのお取り組みをお願いします。

## 3033運動

県では、健康で明るく豊かな生活を送るために、1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、くらしの一部として習慣化する「3033運動」を推進しています。

毎日忙しく、運動する時間や機会の少ない働き盛りを対象とした「3033運動講習会」を各学校のPTA研修等で実施し、少しの時間で無理なく続けるための運動を紹介してい



3033運動

検索

## 「いじめ110番、不登校ほっとライン」のご案内

県立総合教育センターでは、いじめや不登校に関するさまざまな悩みやお問い合わせに応じています。

「いじめ110番(電話相談)」  
電話(0466)811-8111  
24時間365日受付

「不登校ほっとライン(電話相談)」  
電話(0466)811-0185  
月曜～金曜 8:30～21:00  
土・日・祝休日は8:30～17:15  
(12/29～1/3を除く)

## 生涯学習のお手伝いをいたします!

県生涯学習情報システム「PLANETかながわ」では、「講座・イベント情報」・「おでかけ情報」・「施設情報」・「指導者・人材情報」・「団体・グループ情報」など約6万件の生涯学習情報を検索できます。

また、県立図書館新館1階の生涯学習サポートコーナーでは、生涯学習に関する資料(施設案内・イベント・大学公開講座・ボランティアなど)の提供、PCによる生涯学習情報の無料検索や相談員への学習相談をご利用いただけます。

## 【問い合わせ】

生涯学習サポートコーナー  
電話(045)263-5920

# 安全振興会報

一般財団法人  
神奈川県立高等学校  
安全振興会

平成27年度

## 会費、会費減額・修学奨励金給付

平成26年度第1回理事會にて平成27年度会費額が表のとおり決定された。

共済掛金（純掛金+附加共済掛金）については、退会・途中入会の際には共済規程及

び共済規程の運用についてに基づき返金額・納入額を月割り計算で行う。（一般会費は年会費）（詳細はホームページに掲載）

単位：円

学校・課程	会費内訳			合計
	純掛金	附加共済掛金	一般会費	
高等学校(※) 全日制	723	357	120	1,200
定時制	361	179	60	600
通信制	108	54	18	180
中等教育学校	723	357	120	1,200

(※)「高等学校」には特別支援学校高等部を含む

## 安全・健康 生徒の提言

### ポスター・作文コンクール

生徒の安全意識の高揚と学校安全の推進を図るため、本会は11月を安全推進月間に指定し、「安全」又は「健康」をテーマにポスターコンクールと作文コンクールを実施した。

## ポスターコンクール

ポスターコンクールは県高文連美術・工芸専門部会への委託事業として実施され、県下公私立高校から1311点の応募があった。本会の審査の結果、以下の入賞者を決定し、1月18日の高総文祭閉会式で表彰した。また、本会は最優秀作品の2点を原画としてポスターを作成し、各学校に掲示を依頼した。

### 最優秀賞（2点）

〔安全推進月間〕 松島萌（横



松島萌さん(横須賀総合)



内野花梨さん(神奈川総合)

須賀総合、〔作文募集〕 内野花梨（神奈川総合）  
優秀賞（9点）  
杉村綾香（白山）中島玲菜（瀬谷）平田一花、塚本理沙（以上、横浜隼人）入澤友香、金子

子光、山崎愛子、本野杏奈、磯部風沙（以上、横須賀総合）  
佳作（14点）  
藤丸裕介（市ヶ尾）菊池えりか（上矢部）福田さつき、清野じゅん、下鶴千穂（以上、

最優秀賞（2編）  
千徳栞有（茅ヶ崎）「ナイトハイク」、苑原珠生（麻生総合）  
「絶対気をつけて帰ってね」  
優秀賞（5編）  
薬師神さらら（多摩）金子茉莉（中央農業）岡田奈菜子（多

て、「会費減額申請資格基準」及び「修学奨励金給付基準」の改正が決議され、平成27年4月1日より施行される。（詳細はホームページに掲載）

## 作文コンクール

作文コンクールは県立高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部の生徒を対象に実施された。応募数は500編（16校）。今年度の入賞作品は以下のように決定した。

最優秀賞2編は「安全振興会のご案内」（平成27年度版）に掲載した。会報第65号（9月発行予定）にも選考委員の講評とともに掲載する。

また、この2編は2月1日の高P連広報紙コンクール表彰式で本人による朗読が行なわれた。

白山）佐藤夏海、越野朋美、武井美津穂、岡ありさ、城戸彩夏（以上、横須賀総合）川畑聡美、久保田葵、佐々木優花、戸澤莉佳（以上、横浜隼人）

摩）猪股優希奈（湘南・定時）  
蒲地志歩（愛川）  
佳作（26編）  
泉遥佳、井原有柚子、岩田真奈、嶋明香里、三塚淳平、門前菜々、山口菜由子（以上、多摩）根本穂都美（麻生総合）  
上野智子（秦野）井上裕里（伊勢原）安部和佳、田中彪斗（以上、吉田島総合）江川竜我、潮濱玲名、堀田幸佑、山内智司、渡邊航冬（以上、愛川）  
足立直樹、後藤玲雄、菲澤碧輝、森育美、岩田尚樹、小林小雪（以上、中央農業）市川美咲、宮島千咲、山内永子（以上、大和西）

## 全国高等学校安全互助会 連絡協議会総会及び研究大会福岡大会

平成26年10月9日～10日、ホテルセントラーザ博多において開催された。来賓の文部科学省生涯学習政策局社会教育課PTA等共済室佐藤秀雄室長補佐、（一社）全国高等学校PTA連合会佐野元彦会長、福岡県教育委員会城戸秀明教育長はじめ全国より16団体78名の参加があった。

総会では役員改選があり、本会相馬孝雄理事長が会長に就任した。また、名称が全国高等学校等安全互助会連絡協議会に変更された。

## 事務局 七帖

### 日誌より

▼9・11高P連地区交通安全大会・交通安全高校生大会▼10・3第11回常務理事会▼10・9・10全国高等学校安全互助会連絡協議会（以下、

## 一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会

〒221-0001 横浜市神奈川区神之木台二一四  
県青少年課神之木台分館内  
電話045-414-3155/FAX045-111-1900  
URL <http://www.kanagawa-hsanzen.or.jp>